

第3学年における「総合的な学習の時間」

東広島市立高美が丘中学校

本校では、教科の壁を取り払って、自己実現（進路）のため、学習過程（第一次：課題発見過程から表現過程まで）にそって、高校等訪問の体験学習をし、まとめと表現後の学習過程（第二次：創造過程として再度、課題発見過程から創造過程まで）で、自らが課題を見付け、個々人一人ひとりが、学習・生活の計画を立て、実践行動、評価しながら、自己実現に向けた生き方について考えるよう総合的な学習を創造する。

第3学年の総合的な学習の目標

特別活動の目標

望ましい集団生活を通して心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

2 内容 A (3)

学業生活の充実、将来の生き方と進路の適切な選択に関すること。
学ぶことの意義の理解自主的な学習態度の形成と……進路適正の吟味と進路情報の活用、望ましい職業観の形成主体的な進路の選択と将来設計など

国語 第3学年

目的の場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を身に付けさせる。
様々な材料を基にし、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身に付けさせる。

社会 [公民的分野]

社会事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集し選択して多角的に考察し史実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。

理科 [第一分野]

観察実験の結果を考察して自らの考えを導き出し表現する能力を育てる。

美術

創意工夫し創造的に表現する能力を育てる。

技術・家庭

課題をもって生活をよりよくしようする能力と態度を育てる。

道徳，特別活動

総合的な学習の時間のねらい

- (1) 自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てること。
- (2) 学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

知の統合

問題解決能力 学び方・考え方 生き方

第3学年の総合的な学習の目標

- (1) 自主的・実践的な高校等訪問の学習を通して、進路情報を整理し、探究したことや解決した問題をまとめ、表現・発信する能力を養う。
- (2) まとめの学習から、今後の学業生活の課題を一人ひとりが見付け、これからの学習態度や生活態度のよりよい解決をし、自己の生き方を考える資質を養う。

第3学年における総合的な学習の時間の学習指導計画
第一次（高校等訪問学習）

回	月日	時数	過程	ねらい	学習活動	学習形態	基礎・基本教科との関連	評価の観点
1	4/23 (月)	1h	課題発見過程	自己実現の課題を向けて 自ら見つける。	・将来への展望を持ち、 ・業後の進路があるか ・卒業後の進路を ・先月の進路を ・卒業後の進路を ・先月の進路を	一斉	社会（調査）	・卒業後の進路を ・先月の進路を ・卒業後の進路を ・先月の進路を
2	4/25 (水)	1h		課題の解決方法を向けて 課題の解決方法を向けて 課題の解決方法を向けて	・高校等訪問学習の意義と ・調査項目の検討 ・訪問先希望調査実施	一斉	国語（聞く・話す） 社会（調査）	・調査項目を ・調査方法を ・調査方法を ・調査方法を
3	5/14 (月)	1h		進路の指し示す 進路の指し示す 進路の指し示す	・進路に関する努力の重 ・要性を長先生による講 ・要性を長先生による講	一斉 と		・進路に関する ・進路に関する ・進路に関する
4	5/16 (水)	1h	計画過程	高校等訪問の目的を 明確にする。	・高校等訪問の心構え ・訪問先の決定及びグループ ・リーダー選出、役割分担	一斉 グループ		
5	5/18 (金)	2h		課題の解決方法を向けて 課題の解決方法を向けて 課題の解決方法を向けて	<訪問1日目分> ・日程作成 ・あいさつ文の作成 ・調査項目の具体化 ・学校所在地・交通手段・所 ・要時間・交通費等の調査	グループ	国語（聞く・話す） 社会（調査）	・自己の役割を ・自己の役割を ・自己の役割を
6	5/25 (金)	2h		課題の解決方法を向けて 課題の解決方法を向けて 課題の解決方法を向けて	<訪問2日目分> ・日程作成 ・あいさつ文の作成 ・調査項目の具体化 ・交通機関の検討	グループ		
7	5/28 (火) 4,5	2h		自らの判断を 自らの判断を 自らの判断を	・訪問日を仮定し、高校等訪 ・問のリハーサルをする。	グループ	国語（聞く・話す） 社会（メモを取る）	・自己の役割を ・自己の役割を ・自己の役割を
8	6/4 (月) 6	1h		高校等訪問の準備 高校等訪問の準備 高校等訪問の準備	・生徒の運営による高校等訪 ・問出発式	一斉	道徳（協力する）	・自己の役割を ・自己の役割を ・自己の役割を
9	6/5 (火) 6/6 (水)	1h		進路情報の活用、 進路情報の活用、 進路情報の活用、	・高校等訪問実施 ・調査した内容をまとめ整理 ・訪問先へのお礼状の作成	一斉 グループ	国語（聞く・話す） 社会（メモを取る）	・自己の役割を ・自己の役割を ・自己の役割を
10	6/7 (木)	1h	発表会に向けて 発表会に向けて 発表会に向けて	発表会に向けて役 ・割分担を考える。				
11	6/中旬	6h	表現過程	発表会に向けて 発表会に向けて 発表会に向けて	得られた情報をまとめ、レポ ・ート作成 ・発表資料の作成	グループ	国語（聞く・話す） 技術（コンピュータの活用） 美術（表現）	・調査した内容を ・調査した内容を ・調査した内容を
12	7/初旬	3h		発表会に向けて 発表会に向けて 発表会に向けて	発表会のリハーサル	一斉	国語（聞く・話す）	・自己の役割を ・自己の役割を ・自己の役割を
13	7/7 (土)	3h		発表会に向けて 発表会に向けて 発表会に向けて	高校等訪問学習発表会実施		技術（コンピュータの活用）	・自己の役割を ・自己の役割を ・自己の役割を
計 35 時間			【次年度は、これに加えて、自らの生活及び学習の課題を発見し、教師の支援を得ながら解決していく創造過程を考えている。】					

教科（国語科）と総合的な学習「高校等訪問学習」の関連指導計画

事前指導（国語科）		「総合的な学習の時間」		事後指導（国語科）	
学習内容	時間	学習内容	時間	学習内容	時間
「イメージからの発想」から「取材」についての筆者の考え方を つかみ、「取材」について関心を 高める。		課題 発見 過程	将来を見通して、卒業後の進路はど うあるべきか考える。 校区内には、どんな高校があるのか、 どんな科があるのか知る。 希望する進路の実現のため、どんな 努力が必要か考える。 （校長先生による講話）	1 1 1	
		計 画 過 程	高校等訪問の目的の再確認をし、ア ンケート調査に基づいたグループの 編成を発表し、リーダーを決定する。 （訪問校 38 校） 高校等訪問の計画の作成 ・交通手段や費用・時間を調べて訪問 日程を計画する。 ・詳しい情報を得るために、訪問校の 資料を収集し調べる。 ・あいさつの仕方やインタビューの内 容を検討する。	1 5	
《調べて報告する》 インタビューについて学習する。 ・インタビューを行うための手順 を知り、目標を明らかにする。 ・予備知識を得るための情報収集 の方法を知る。 ・電話のかけ方を学ぶ。 ・質問の仕方や整理の仕方を学ぶ。 ・敬語の使い方を学ぶ。 ・メモの取り方を学ぶ。 ・礼状の書き方を学ぶ。	7	行 動 過 程	訪問校に電話し、予約する。 高校等訪問のリハーサルをする。 生徒の運営による出発式をする。 高校等訪問実施（2日間） ・インタビューの実施 ・聞き取りメモのまとめ ・礼状の作成	2 1 11	《調べて報告する》と高校 等訪問学習の自己評価 新しい自己の課題発見
		表 現 過 程	収集した情報の整理をし、担当を決 め役割分担をする。 ・発表担当 発表原稿を作り、それに 合うパネルを作る。プレゼンテー ションのリハーサルを繰り返し行う。 ・冊子担当 情報を整理し、パソコン を使って冊子を作成する。 「高校等訪問学習発表会」の実施 ・保護者や訪問校の先生方を招く。 ・生徒たちが、進行・受付・接待を行 う。	3 6 3	《根拠を示して主張する》 と「発表会」の学習活動の 自己評価と相互評価 新しい自己の課題発見 課題解決のための「作文指 導」
					《3分間スピーチをしよう》 平野啓子さんの講演を聞 き、自分の話し方に改善を 加えて3分間スピーチをす る。
					《3分間スピーチをしよう》 ・明らかになった課題を克服 するようなスピーチを工夫 する。 （帯単元として毎時間2人） ・身の回りから話題を探す。 ・説得力のある表現の仕方を 工夫する。 ・声の大きさや間の取り方に も工夫を加える。

計 35 時間